

# 稲作情報

Vol. 1 平成25年6月5日

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部  
 問い合わせ先：本吉農業改良普及センター  
 TEL：0226-29-6044  
 ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/my-nokai/>



## 田植盛期は平年よりも1日遅く、生育は1～2日程度遅い

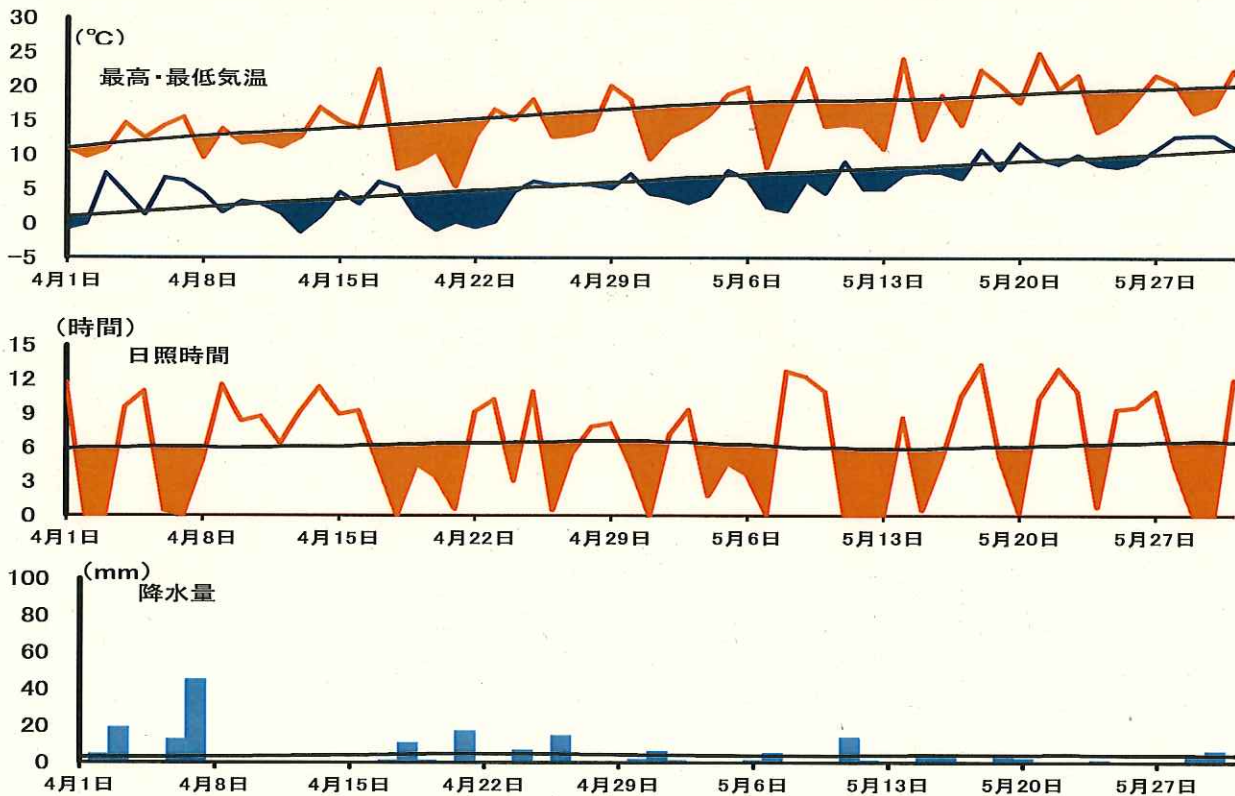


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：4月1日～5月31日）

### 気象経過

#### 田植盛期後も気温は平年を下回って推移

田植えが開始された5月2半旬～3半旬の気温は低めで推移し、特に最高気温が平年を大きく下回りました。また、田植盛期（5月18日）後数日の気温は高めでしたが、その後は平年を下回る気温で推移しました。

日照時間は、田植盛期後は平年並から平年を上回り推移しました。

降水量は、全般に少雨傾向で、特に5月5半旬は平年比7%と著しい少雨でした。

表1 半旬別気象表（気仙沼アメダス）

	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	H25	平年	差	H25	平年	差	H25	平年	差	H25	平年	比	H25	平年	比
5月1半旬	9.3	11.9	-2.6	14.2	17.4	-3.2	4.7	6.8	-2.1	23.1	32.3	72%	7.0	19.6	36%
5月2半旬	9.7	12.5	-2.8	16.3	17.9	-1.6	4.4	7.5	-3.1	39.9	30.6	130%	6.0	18.5	32%
5月3半旬	10.0	12.9	-2.9	15.3	18.2	-2.9	6.9	8.2	-1.3	9.2	29.6	31%	17.0	19.2	89%
5月4半旬	12.6	13.5	-0.9	18.8	18.7	0.1	9.0	8.9	0.1	34.5	30.3	114%	8.5	20.3	42%
5月5半旬	14.0	14.2	-0.2	19.0	19.4	-0.4	9.1	9.6	-0.5	44.6	31.4	142%	1.5	20.8	7%
5月6半旬	15.3	14.9	0.4	19.5	20.0	-0.5	11.6	10.5	1.1	37.2	39.1	95%	8.5	23.4	36%



## 播種・田植の状況

**播種盛期は平年より1日早く、田植盛期は平年より1日遅い**

管内の播種盛期は4月14日で平年より1日早くなりましたが、育苗期間中の平年を大きく下回る低温により出芽の不揃いやカビの発生がみられました。また、苗の生育遅れが目立ち、田植盛期は5月18日と平年より1日遅くなりました。

表2 播種及び田植状況(普及センター管内)

	播種状況			田植状況		
	播種始期	播種盛期	播種終期	田植始期	田植盛期	田植終期
平成25年	4月6日	4月14日	4月22日	5月10日	5月18日	5月26日
前年	4月6日	4月14日	4月21日	5月8日	5月18日	5月25日
平年	4月6日	4月15日	4月23日	5月10日	5月17日	5月25日
前年差	0日	0日	+1日	+2日	0日	+1日
平年差	0日	-1日	-1日	0日	+1日	+1日

※播種・田植と始期は5%、盛期は50%、終期は95%に達した日。平年は前5ヶ年の平均。

## 田植後の生育経過

**葉数はやや少なく、生育はやや遅れ気味**

5月31日現在の水稻生育調査ほの生育は、5月18～23日が気温が高い日が続いたことから、草丈・茎数ともに概ね平年並みとなっていますが、葉数はやや少なく、葉数からみると生育は平年より1～2日程度の遅れていると考えられます。

表3 生育調査結果

調査地点名 品種名		苗調査		田植調査			5月31日調査		
		草丈 (cm)	葉数 (枚)	田植日	植付本数 (本/株)	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)
気仙沼市	平成25年	12.7	2.9	5月12日	4.9	21.8	19.3	129	4.1
	前年	13.4	3.1	5月13日	5.1	21.1	17.7	120	4.4
	平年	14.1	2.8	5月13日	—	—	18.6	123	4.7
ひとめぼれ	前年比(差)	95	-0.2	-1日	—	—	109	108	-0.3
	平年比(差)	90	0.1	-1日	—	—	104	105	-0.6
南三陸町	平成25年	—	3.1	5月15日	5.1	18.8	20.0	107	4.6
	前年	—	3.2	5月16日	5.0	19.0	17.1	103	4.6
	平年	—	3.2	5月16日	—	—	19.2	108	4.7
ササニシキ	前年比(差)	—	-0.1	-1日	—	—	117	104	0.0
	平年比(差)	—	-0.1	-1日	—	—	104	99	-0.1

注: 平年値は過去7カ年(平18～24年)のうち最大値年(平20)と最小値年(平18)を除いた5カ年の平均値

## 今後の技術対策

### ◎水管理

- 水かけ時の水深は浅水(2～3cm)として水温の上昇に努め、分げつの発生を促進させましょう。
- 低温や強風が予想される場合は5～6cmの深水にしましょう。
- 水かけは早朝に行い、日中は止水してください。日中に水かけを行うと水田全体の水温が高まりにくく、水口と水尻の水温差が大きくなり、生育ムラが生じやすくなります。

### ◎雑草防除

- 初期剤や初中期一発剤を散布しても雑草が残っている場合は、中・後期剤を散布し防除しましょう。
- 中・後期剤を散布する場合は、必ず雑草の種類や草丈・葉齢を確認し、適切な薬剤を選びましょう。農薬ラベルに記載された使用時期および使用方法に注意し、遅れないように散布してください。



## ◎病虫害防除

### 《本田初期害虫》

- 病虫害防除所の発生予察情報(5月24日現在)によると、イネミズゾウムシの発生量は、平年よりやや多く、イネドロオイムシの発生量はやや少ない見込みです。
- 箱施用剤を使用した場合は、本田での防除は必要ありませんが、箱施用剤を使用しなかった場合は、以下の要防除密度を目安に防除してください。
  - ・イネミズゾウムシ: 畦畔際から2m程度で成虫が100株当たり130頭以上見られるとき
  - ・イネドロオイムシ: 侵入盛期(6月始め)に、成虫が100株当たり25頭以上、または卵塊が100株当たり80個以上見られるとき

### 《葉いもち》

- 早期の葉いもち発生は、感染苗の本田持ち込みによるものが多く、そこから菌が空気中に飛散して伝染します。ほ場に放置している残苗は、本田でのいもち病の発生源となりますので、補植が終わったらただちに土に埋めるなどして処分してください。残苗を処分する際は、苗にいもち病が発病していないかを確認し、発病があった場合は本田での発生に注意してください。
- 箱施用剤によるいもち病防除を行っていない場合は、オリゼメート粒剤やオリゼメートパック等の水面施用剤を6月15日頃から湛水状態で散布してください。

**補植用残苗は早めに処分しましょう！**

## 鉄コーティング直播栽培現地実証ほのお知らせ

普及センターでは、水稻の省力・低コスト栽培が可能になる技術として、鉄コーティング直播栽培の普及・定着を進めています。

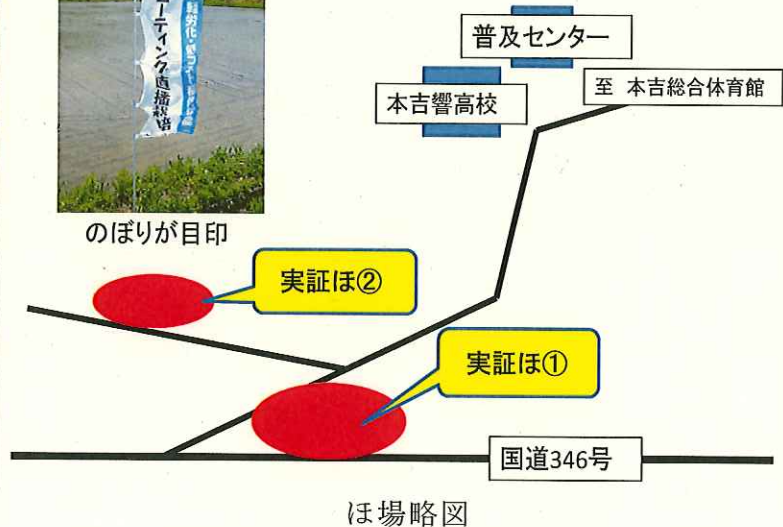
本年度は、全国農業システム化研究会現地実証調査として、気仙沼市本吉町小峰崎に実証ほを設置しています。

小峰崎地区の被災農地は、復旧工事が完了し本年度から水稻作付が可能になりました。実証ほでは、復旧農地での鉄コーティング直播栽培適応性や移植栽培との比較を検討します。

今後、現地検討会などの開催を予定していますので、詳細が決まり次第ご案内します。近くをお通りの際は、ぜひほ場をご覧ください。



のぼりが目印



ほ場略図